

# 調査基準価格未満は78件

07仙台市  
年度契約

## 平均落札率80・1%



仙台市は2007年度の入札契約状況の速報値をまとめた。市長部局ばかり全5部局を合わせた発注件数は1601件で、総額予定価格の733億2356万円に対して、総落札価格は587億2862万円で、平均落札率は80・1%だった。この

つた。調査基準価格を下回る落札は78件あった。30日に開かれた入札等適正化委員会（委員長・高橋恒夫東北工大工学部建築学科長）の席で報告した写真。

調査基準価格未満の落札は48件あったが、最低制限価格制度などの導入により平均落札率は76・8%で、前年度から0・8%で、前年度から0・6%低下。指名競争入札720件の平均落札率も88・4%で、前年度と比べて2%低下くなっている。

全体の総予定価格は408億6652万円で、総落札価格は331億9544万円だった。総予定価格が402億5256万円と近かった05年度に比べると平均落札率は74・3%と、06年度に比べて約12%上昇している。

このほかの部局の全体の平均落札率をみると、水道局は94・4%、ガス局も92・1%と、ほぼ同じ落札率を示す。市立病院は2件中1件が手

取った。調査基準価格未満の落札は4件あったが、最低落札価格は「大野田配水区（大野田元袋地区）雨水枝線工事2」「市立宮城野中学校増改築工事」と比べると平均落札率は約7・6%低下している。

06年度から地下鉄東西線の本体土木工事など大規模な案件（公募）のみると、大型案件（公募）と比べて上昇している。通局では、WTO対象3件を含む24件の大型案件を発注。07年度から特別調査基準価格を設定したことにより、大型案件の平均落札率は74・3%と、06年度に比べて約1割程度低くなっている。

調査基準価格を下回る落札の中でも、土木工事は、この日の委員会では、1割程度低くなっている。

調査基準価格未満の落札は4件を含む24件の大型案件を発注。07年度から特別調査基準価格を設定したことにより、大型案件の平均落札率は74・3%と、06年度に比べて約1割程度低くなっている。

調査基準価格未満の落札は4件を含む24件の大型案件を発注。07年度から特別調査基準価格を設定したことにより、大型案件の平均落札率は74・3%と、06年度に比べて約1割程度低くなっている。

調査基準価格未満の落札は4件を含む24件の大型案件を発注。07年度から特別調査基準価格を設定したことにより、大型案件の平均落札率は74・3%と、06年度に比べて約1割程度低くなっている。